

審査結果報告書

2023 年 2 月 2 日

主 査 氏 名 東川 梓里



副 査 氏 名 佐野 祥



副 査 氏 名 福田 倫也



副 査 氏 名 深瀬 裕子



1. 申請者氏名 : DM19006 上岡 清乃

2. 論文テーマ :

英語の読み書きの学習に困難さを示す児童生徒の早期発見を目的としたスクリーニング検査の開発

3. 論文審査結果 :

本邦では文部科学省の方針に基づき、2020 年から英語教育改革の前面実施が開始され、小学校にも英語の授業が導入された。英語は、日本語よりも書記素と音素の対応関係がより複雑であるという特性のために、一般に日本語よりも習得が難しいとされる言語である。本論は、英語学習につまずいている児童生徒を早期に把握し、その支援に繋ごうという、教育現場における喫緊の問題に即した極めて重要な研究の一環と考える。

本研究では、国内の 1,218 名の児童生徒を対象として、認知神経心理学的言語理論をベースに作成した読み書きスクリーニング検査を実施している。審査では、その結果の検定の方法について、カットオフ値の設定の方法について、検査の感度や特異度が検討されていない点などについて質問があったが、いずれの質問にも丁寧な回答をしており、指摘された項目に真摯に対処する姿勢が感じられた。全般的には、結果の解釈とその考察において、客観的な分析に加え、結果を指導に結びつける言語聴覚士の視点が生かされ、貴重な知見が得られている点、研究成果の臨床応用にまで言及されている点が高く評価された。

以上より、審査委員会では、論文の体裁、内容ともに博士論文としての水準を十分に満たしているとの結論を得た。